

# 食育・地産地消に関するアンケート調査(一般県民対象)

N=1,085

## ■調査概要

調査月日:令和5年 12月 11日~12月 29日

調査対象:一般県民 2,000人(各市町の住民基本台帳から、人口割、年齢階級割により無作為抽出)

回答者数:1,085人(回答率 54.3%)

## ■回答者の属性

### A 住所(市町名) (上段:回答者数、下段:全回答者数に対する割合)

市町	福井市	敦賀市	小浜市	大野市	勝山市	鯖江市
人数	365	80	36	32	42	95
割合(%)	33.6%	7.4%	3.3%	2.9%	3.9%	8.8%
市町	あわら市	越前市	坂井市	永平寺町	池田町	南越前町
人数	32	119	117	28	3	15
割合(%)	2.9%	11.0%	10.8%	2.6%	0.3%	1.4%
市町	越前町	美浜町	高浜町	おおい町	若狭町	無回答
人数	26	11	16	10	26	32
割合(%)	2.4%	1.0%	1.5%	0.9%	2.4%	2.9%

### B 年齢

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
人数	6	56	104	160	167	210	381	1
割合	0.6%	5.2%	9.6%	14.7%	15.4%	19.4%	35.1%	0.1%

### C 性別

性別	男	女	回答しない	無回答
人数	438	606	6	35
割合	40.4%	55.9%	0.6%	3.2%

### D あなたの職業

職業	正規職員	パート・アルバイト	会社役員	自営業	主婦	学生	定年退職者	その他	無回答
人数	323	197	38	91	177	18	170	58	13
割合	29.8%	18.2%	3.5%	8.4%	16.3%	1.7%	15.7%	5.3%	1.2%

### E あなたの世帯構成

構成	単身	核家族	多世代	その他	無回答
人数	49	658	310	53	15
割合	4.5%	60.6%	28.5%	4.9%	1.4%

■それでは、以下の質問に対して当てはまるものに○印または文章でお答えください。

## 1 『食育』についておたずねします。

<問1>あなたは、「食育」について関心がありますか。

1. 関心がある (27.7%)	2. どちらかといえば関心がある (51.6%)	3. どちらかといえば関心がない (15.0%)	4. 関心がない (3.0%)	(2.6%) 無回答
---------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------	------------

<問2>あなた(あなたの家庭)が、日々の食事の中で実践していることはどれですか。(複数回答)

(17.3%)1. 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を伝えること
(68.0%)2. 旬の食材を使って季節に応じた料理を楽しむこと
(22.3%)3. 食材に関する知識や料理技術を身につけること
(54.2%)4. 家族揃って食卓を囲み、会話をしながら楽しく食べること
(40.9%)5. 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上食べる
(49.7%)6. 朝昼晩、3食決まった時間に食べる
(34.7%)7. 生産から消費までの食べ物の循環を意識し、食品ロスを減らす
(4.4%)8. その他

(1.0%) 無回答

<問3>あなたは、ふだん朝食を食べますか。

(84.1%)1. 毎日食べる	(5.4%)2. 週5~6回食べる	(3.4%)3. 週3~4回食べる
(3.7%)4. 週1~2回食べる	(2.9%)5. まったく食べない	

(0.4%) 無回答

<問4>あなたは、1週間のうち何回、家族または知人等と一緒に食事をしていますか。

※全員一緒になくても、誰か一緒に食卓についていることも含みます。

【朝食】 1. 毎日 (54.8%)	2. 週5~6回 (6.8%)	3. 週3~4回 (6.9%)	4. 週1~2回 (15.9%)	5. まったくない (14.8%)
-----------------------	--------------------	--------------------	---------------------	----------------------

(0.6%) 無回答

【夕食】 1. 毎日 (71.2%)	2. 週5~6回 (9.4%)	3. 週3~4回 (7.6%)	4. 週1~2回 (6.4%)	5. まったくない (3.6%)
-----------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---------------------

(1.8%) 無回答

[資料1]を読んで問5～7にお答えください。

[資料1]「郷土料理や伝統料理」は、その地域に特有の料理や、古くから受け継がれ伝えられている料理をさします。(例:呉汁、昆布巻き、麩の辛子和えなど)  
「食べ方・作法」は、「お椀を手を持つ」、「迷い箸をしない」、「音をたてない」など、日常の食事の際のマナーや、食事の際の挨拶である「いただきます」や「ごちそうさまでした」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝などの気持ちの表現等も含まれます。

<問5>あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継ぐことは大切だと思いますか。

(27.8%)1. とてもそう思う (60.0%)2. そう思う (8.8%)3. どちらともいえない  
(2.2%)4. あまりそうは思わない (0.6%)5. まったくそうは思わない

(0.6%) 無回答

<問6> あなた(あなたの家庭)は、福井県の郷土料理や伝統料理をどのくらいの頻度で食べていますか。

1. ほぼ毎日 (2.8%) 2. 週に1回以上 (20.1%) 3. 月に1回以上 (36.2%) 4. それ以下 (34.1%) 5. まったく食べない (5.6%)

(1.2%) 無回答

<問7>あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継ぐためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

(64.5%)1. 親等から家庭で教わること  
(18.4%)2. 子供の頃に学校で教わること  
(6.3%)3. 地域コミュニティで教わること  
(5.5%)4. 食に関するイベント等で教わること  
(4.1%)5. 出版物やテレビ、ウェブサイト等のメディアで教わること  
(2.0%)6. 結婚、出産等の人生の節目で教わること  
(20.5%)7. ふだん食べているもののうち、どれが郷土料理や伝統料理かを知る機会を増やすこと  
(0.9%)8. その他(具体的に: )  
(0.8%)9. 受け継ぐ必要はない

(0.9%) 無回答

<問8>あなた(あなたの家族)は、食事の際に主食としてお米(お粥、おにぎり、炒飯等を含む)を食べますか。

(32.1%)1. 1日3食、毎日食べる (44.0%)2. 1日2回、毎日食べる (16.7%)3. 1日1回毎日食べる  
(4.8%)4. 週に4～5回食べる (0.6%)5. 週に2～3回食べる (0.9%)6. 週に1～2回食べる  
(0.6%)7. まったく食べない

(0.4%) 無回答

<問9> あなた(あなたの家庭)は、どのくらいの頻度で米粉・米粉製品を購入していますか。

1. ほぼ毎日 (9.5%)	2. 週に1回以上 (14.4%)	3. 月に1回以上 (27.1%)	4. それ以下 (29.7%)	5. まったく購入しない (18.0%)
-------------------	----------------------	----------------------	--------------------	-------------------------

(1.4%) 無回答

<問10> 米粉の消費拡大には何が必要だと思いますか。(複数回答)

(33.6%)1. 販売価格を下げる	(46.9%)2. 米粉レシピの増加、普及
(52.1%)3. 手軽にできるレシピの開発	(15.1%)4. 有用性のPR強化
(18.7%)5. 販売店舗、売り場の増加	(17.0%)6. 飲食店での米粉利用促進
(30.4%)7. 学校給食への導入・利用促進	(17.7%)8. 新たな加工品の開発
(8.7%)9. 味や食感の改良	(1.4%)10. その他( )

(1.9%) 無回答

<問11> あなたは、日頃から環境に配慮した農林水産物・食品(農薬や化学肥料を減らして生産された農産物や、過剰包装でなくごみが少ない商品など、環境への負荷をなるべく低減した農林水産物・食品)を選んでいきますか。

1. いつも選んでいる (16.1%)	2. 時々選んでいる (52.2%)	3. あまり選んでいない (27.9%)	4. まったく選んでいない (3.5%)
------------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------

(0.3%) 無回答

<問12> 【問11で「1. いつも選んでいる」、「2. 時々選んでいる」と答えた方に】  
あなたは、どのような環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいきますか。(複数回答)

N=741

(26.9%)1. 環境に配慮していることに関する表示(有機 JAS マーク、特別栽培農産物認証マーク、エコファーマーマークなど)があるもの
(10.1%)2. 1のような具体的な表示はないが、生き物とその生息環境の保全(土壌や水質保全含む)や化石燃料の使用を減らす等温暖化防止に配慮して生産されたことがわかるもの
(57.9%)3. 近隣の地域で生産・加工されたもの(市町内、県内)
(70.7%)4. 国産のもの
(34.4%)5. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量のもの
(30.4%)6. 消費期限が近いなど、廃棄される可能性があるもの
(23.6%)7. 過剰包装でないもの
(1.2%)8. その他

(0.7%) 無回答

<問13> 【問11で「3. あまり選んでいない」「4. まったく選んでいない」と答えた方に】

あなたが環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいない理由は何ですか。(複数回答)

N=341

- (18.5%)1. 関心がない (22.9%)2. 関心はあるが、値段が高い  
(10.3%)3. 関心はあるが、欲しいものがない (41.1%)4. 関心はあるが、どれが環境に配慮しているのかわからない  
(5.6%)5. 関心はあるが、売っている場所が分からない  
(1.2%)6. その他

(2.1%) 無回答

<問 14> 福井県特別栽培農産物の認証マークについて知っていますか。



※福井県特別栽培農産物  
農薬・化学肥料を5割以上削減

- (10.8%)1. マークの意味を知っている  
(27.1%)2. 見たことはあるが、意味は分からない  
(60.4%)3. まったく知らない

(1.8%) 無回答

<問15> 次の中で、あなた(あなたの家族)が利用したことがあるものに○をつけてください。(複数回答)

- (2.3%)1. 食に関するオンラインセミナーの動画の視聴  
(1.7%)2. 食に関するオンラインセミナーへの参加  
(12.9%)3. 収穫体験や食品工場等、生産・加工現場に関する動画の視聴  
(52.7%)4. インターネット上での料理レシピの入手、レシピ動画の視聴  
(1.8%)5. その他  
(39.0%)6. 利用したことがない

(2.9%) 無回答

<問16> あなたは、今後どのようなデジタル技術を活用した食育(インターネットを通じた食育に関する情報や体験など)を利用したいと思いますか。(複数回答)

- (12.0%)1. 食に関するオンラインセミナーの動画の視聴  
(3.7%)2. 食に関するオンラインセミナーへの参加  
(24.9%)3. 収穫体験や食品工場等、生産・加工現場に関する動画の視聴  
(58.3%)4. インターネット上での料理レシピの入手、レシピ動画の視聴  
(2.6%)5. その他  
(22.0%)6. 利用したいと思わない

(4.3%) 無回答

<問17>これまで、あなた(あなたの家族)は、田植え(種まき)、稲刈り、野菜の収穫、家畜の世話など農林漁業体験に参加したことがありますか。

(63.4%)1. ある

(35.0%)2. ない

(1.6%) 無回答

<問18>【問17で「1. ある」と答えた方に】

農林漁業体験に参加して何か変化したことがありますか。(複数回答)

N=688

(55.5%)1. 自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった

(39.4%)2. 地元産や国産の食材を積極的に選ぶようになった

(7.6%)3. 食べられなかった野菜などが食べられるようになった

(11.8%)4. 地元の生産者等との交流が増えた

(6.1%)5. その他

(15.6%)6. 変化はなかった

(4.8%) 無回答

<問19>農林漁業体験にどんな工夫があれば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

(22.0%)1. 作物の生長に合わせて種まき、収穫など複数の作業が体験できること

(39.7%)2. 収穫物の調理体験ができること

(29.9%)3. 地域の伝統行事などのイベントに合わせて参加できること

(16.8%)4. 地元の生産者等との交流があること

(36.0%)5. 親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること

(3.6%)6. オンラインで、体験前に試したり、体験後も関係が続けられること

(4.7%)7. その他

(10.9%) 無回答

<問20> 食育について、県では下記の施策に取り組んでいます。この中で、引き続き推進の強化が必要だと考えるものは何ですか。また、下記の施策以外に取り組むべきことについて、その他の欄に御記入ください。  
(複数回答)

- (20.2%)1. 三世代が命の大切さ等を共に学び、交流する、食に関する体験の推進
- (14.8%)2. 乳幼児がいる保護者に対する、地場産食材を用いた離乳食やおやつ等の推進
- (30.6%)3. 遊びながら食を学べる体験の場の設置
- (26.5%)4. 高齢者の健康に配慮した食事モデルメニューの普及推進
- (45.7%)5. 食べ残しや廃棄を減らす「おいしいふくい食べきり運動」の推進
- (12.5%)6. 「早寝早起き朝ごはん」運動等を通じた共食の推進
- (19.9%)7. 非常時に役立つ調理方法等の普及
- (3.2%)8. 県内企業への「ふくいの食育推進企業」登録を通じた食育推進
- (2.4%)9. 食生活改善推進員が事業所を訪問し、健康を保つための食を推進
- (16.7%)10. 健康に配慮した定食等のメニューを認証する「ふくい100彩ごはん」の普及推進
- (6.7%)11. 食品関連事業者に向けた適正な食品表示の指導
- (7.6%)12. 生産者との交流による農林水産体験を支援
- (34.9%)13. 学校給食と連携した食育の推進
- (12.4%)14. 高校生への食の自立や食の選択力強化を推進
- (1.8%)15. その他

(3.6%) 無回答

## 2 『地産地消』についておたずねします。

<問21>あなたは、普段食材を買うとき、どの産地を優先していますか。(〇は1つ)

- (32.1%)1. 福井県産
- (55.8%)2. 国内産であれば産地は問わない
- (11.4%)3. 国産・外国産にはこだわらない

(0.7%) 無回答

<問22>【問21で、「1.福井県産」を選んだ方に】 その理由は何ですか。(複数回答)

N=348

- (75.6%)1. 新鮮だから
- (51.7%)2. 安全で安心できるから
- (13.5%)3. 価格が安いから
- (42.8%)4. おいしいから
- (43.7%)5. 地域の農地保全や農業振興につながるから
- (12.6%)6. 食料自給率に関心があるから
- (17.0%)7. フードマイレージ(食料の輸送量×輸送距離)などの環境負荷が少ないから
- (2.0%)8. その他

(0.3%) 無回答

<問23>【問21で、「2.国内産であれば産地は問わない」「3.国産・外国産にはこだわらない」を選んだ方に】  
その理由は何ですか。(複数回答)

N=348

- (46.1%)1. 県外産の方が価格が安いから
- (7.4%)2. 県外産の方が品質が良いから
- (14.8%)3. 県外産の方が知名度が高いから
- (43.9%)4. 福井県産は種類・品目が少ないから
- (15.1%)5. その他

(1.8%) 無回答



<問24> あなたが福井県産の農林水産物や農産加工品を購入する際、最も購入する頻度が高い場所はどこですか。

- (75.9%)1. スーパーなどの量販店
- (20.5%)2. 農産物直売所・道の駅
- (0.7%)3. 八百屋、果物屋等の小売店
- (0.9%)4. 生産者から直接
- (0.7%)5. 通信販売や宅配サービス
- (0.6%)6. その他

(0.7%) 無回答

<問25> あなたが福井県産の農林水産物や農産加工品を購入する際、県外産と比較して気がつくことはありますか。あるとすればそれは何ですか。(複数回答)

- (43.2%)1. 種類が少ない
- (5.1%)2. 種類が豊富
- (26.3%)3. 価格が高い
- (11.0%)4. 価格が安い
- (15.3%)5. 伝統野菜など特徴のある品目がない
- (7.3%)6. 特徴のある品目が多い
- (1.2%)7. 品質、鮮度が良くない
- (32.4%)8. 品質、鮮度が良い
- (22.2%)9. 県産食材だとわかる表示が少ない
- (1.4%)10. その他
- (15.5%)11. 特に気がつくことはない

(1.8%) 無回答

<問26> あなたは、県産食材がどのような形で販売されていると日々の食事に取り入れやすいと思いますか。(複数回答)

- (65.6%)1. 生鮮品のままだがよい
- (33.8%)2. 下処理済み(皮むき、カット済み等)がよい
- (15.5%)3. 料理ごとにカットして人数分セットされているパックがよい
- (36.3%)4. そのまま食べられる惣菜がよい
- (12.0%)5. 冷凍食品がよい
- (2.4%)6. その他

(1.5%) 無回答

<問27>地産地消について、県では下記の施策に取り組んでいます。この中で、引き続き推進の強化が必要だと考えるものは何ですか。また、下記の施策以外に取り組むべきことについて、その他の欄に御記入ください。(複数回答)

- (38.9%)1. 消費者の利便性向上のための、大規模農産物直売所の整備
- (23.6%)2. 消費者が求める食卓を彩る野菜や旬の果物などの少量多品目の農産物生産推進
- (63.5%)3. 量販店の地場産コーナー等で買い物がしなくなる売り場づくりや、地場産食材購入促進キャンペーン等による消費者の購入意欲促進
- (30.9%)4. 若い世代に地魚の魅力をPRし、購買意欲の向上と消費拡大を推進
- (21.4%)5. 新たな需要が見込まれる「健康食」「介護食」等、地場産食材を使った6次産業化商品の開発の支援
- (21.5%)6. 学校給食での野菜の利用を促進するため、収穫時期の拡大や、広域集出荷貯蔵施設を整備
- (13.9%)7. 調理現場と生産現場をつなぐコーディネーターによる学校給食への利用促進
- (13.5%)8. 社員食堂等への地場産食材の導入推進
- (2.2%)9. その他

(2.0%) 無回答